

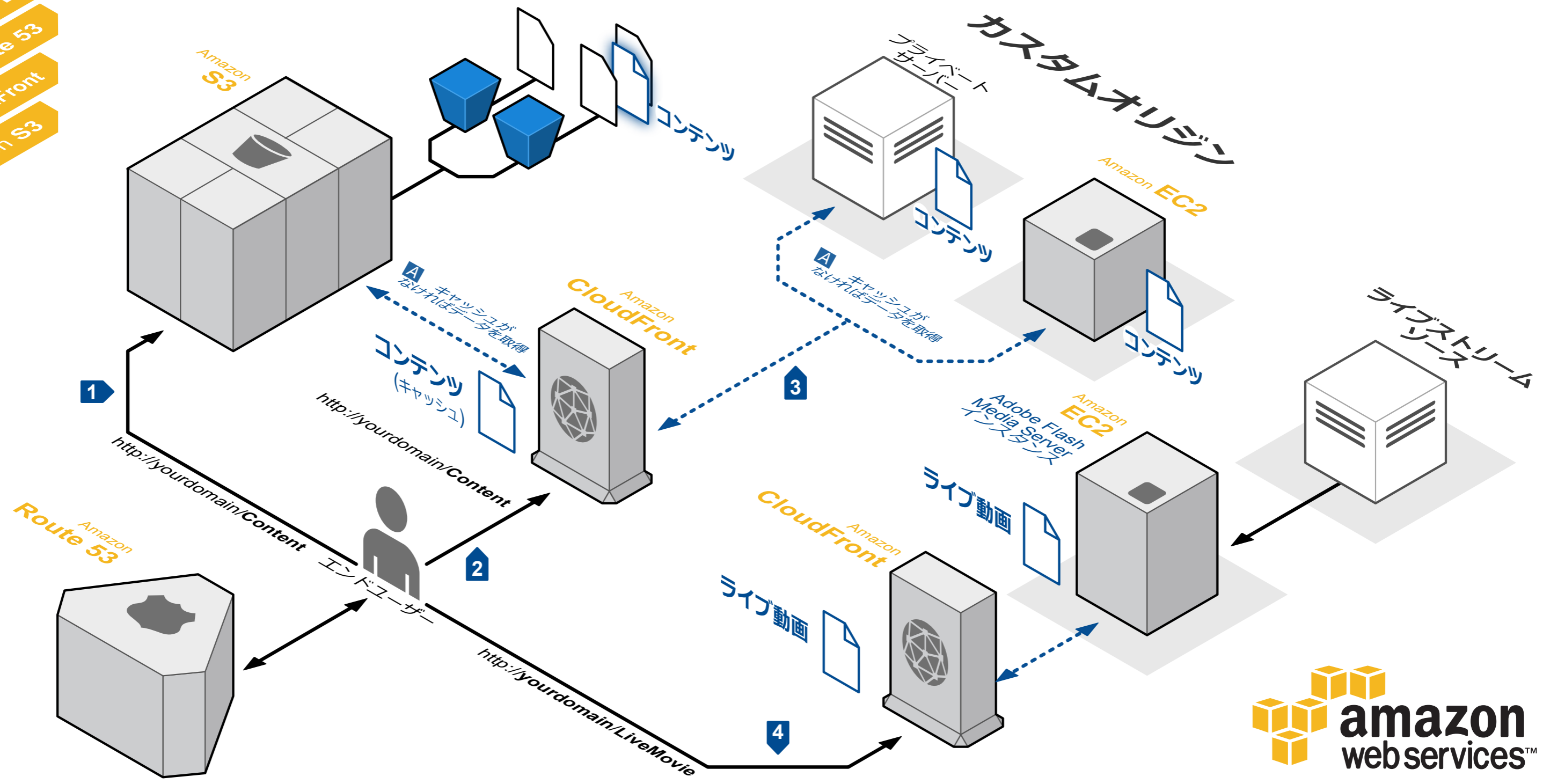
AWS Reference
アーキテクチャ

Amazon EC2
Amazon Route 53
Amazon CloudFront
Amazon S3

コンテンツ & メディア配信

デジタルコンテンツ配信は、最も基本的で当たり前のように行われているひとつです。しかし、決められた予算内で低レイテンシー、高可用性、堅牢性、アクセス制御、そして何百万ものアクセスに対する要件を満たさなければならなくなった時から複雑になります。その中でも、スパイク的な利用が発生した際は、オペレーションチームとして、ピーク利用時以外には不要となる、ハードウェア、ネットワークの物理的な追加、そしてピーク時のアクセス要求に対応するサポートチームの人的追加などが求められることがあります。

AWSは高性能なメディア配信に特化したサービス群を提供しています。各サービスでは、必要時に必要なだけスケールアップ、もしくはスケールダウンすることが可能な上、ご利用いただいたリソース分のみを課金する柔軟なインフラストラクチャを提供いたします。また、プログラミング可能なインフラストラクチャであることから、利用者の要求を即座に反映することが可能となります。我々の提供する高度なAPIにより、システムを構成するインフラストラクチャに対し、よりきめ細やかな制御を実現することが可能となります。



システム概要

- 1 シンプルかつセキュア** — このリファレンスアーキテクチャでは **Amazon Simple Storage Service (S3)** をウェブ上の静的コンテンツの格納先として利用しています。Amazon S3は、Webのスケールに適した、高可用性かつ高い堅牢性を持ちます。これにより、Webサーバ上に格納されている静的コンテンツを移行することが可能となります。また、Amazon S3はHTTPSによるセキュアな通信も提供しています。
- 2 高速かつエッジでのキャッシュ** — Amazon CloudFrontのようなハイパフォーマンスエッジキャッシュを利用することで、急成長し、より広範囲に配信を行うお客様に対して、より優れたレイテンシー、フォールトトレランス、価格を提供することが可能となります。Amazon S3をAmazon CloudFrontのオリジンサーバとして利用いただくことで、Amazon S3をAmazon CloudFrontのオリジンサーバとして利用

- いただくことで、高速なデータ転送、シンプルな配信およびキャッシングワークフロー、そして統合されたセキュリティフレームワークを得ることができます。Amazon S3およびAmazon CloudFrontはウェブサービス、AWSマネージメントコンソール、もしくは3rdパーティー管理ツールを利用して構成することが可能です。
- 3 Amazon Elastic Compute Cloud (EC2)を、Amazon S3の代わりに、オリジンサーバとして静的コンテンツの格納先に利用いただくことも可能です。** Amazon EC2を利用いただくことで、優れた制御性、ロギングよりきめ細やかなコンテンツ配信を行えます。また静的コンテンツに関しては、オンプレミス、もしくはホスティングしているプライベートサーバをAmazon CloudFrontのオリジンサーバとして構成することも可能です。

- 4 ライブストリーミング** — Adobe Flash Media ServerをAmazon EC2上で稼働させることで、Amazon CloudFrontと連動したストリーム配信およびキャッシングが可能となり、AWSプラットフォーム上でシームレスなライブストリーム環境を実現できます。Webサーバ上でmanifest.xmlファイルを配信し、Flash Media Serverは時間課金ライセンスとしてAmazon DevPay EC2インスタンスとして稼働、そしてAmazon CloudFrontがストリーム配信を行う構成になります。

詳細はこちらを参照 : <http://www.adobe.com/go/fmsaws>